

令和 9 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・地歴（地理）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は 6 問 6 ページで、時間は 60 分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 地理歴史（地理）

1 次の（１）～（１０）の問いに答えよ。

- （１） 高緯度地方にみられる日没後から日の出前の薄明の状態を何というか、記せ。
- （２） ブエノスアイレスを中心に広がる半径約 600 kmの温帯草原を何というか、カタカナで記せ。
- （３） 主に砂漠や寒冷地域、高山地域などに見られ、人類が常住していない地域を何というか、カタカナで記せ。
- （４） モスクワ大公国のイヴァン 3 世が初めて使用し、イヴァン 4 世が正式に採用した、「ロシアの皇帝」を意味する称号を何というか、カタカナで記せ。
- （５） 1851 年に世界初の万国博覧会が開催された都市はどこか、都市名を記せ。
- （６） エジプト革命の中心となった軍人・政治家で、エジプト共和国の大統領として、アスワン＝ハイダム建設の建設着手やスエズ運河の国有化を行った人物は誰か、記せ。
- （７） 日本で奈良時代頃におこった、仏と神は本来同一であるとする思想を何というか、記せ。
- （８） 近世の宿駅における大名・公家・幕府役人の宿泊所を何というか、記せ。
- （９） 1954 年、太平洋ビキニ環礁におけるアメリカの水爆実験により日本の漁船が被爆して乗組員の 1 名が死亡し、原水爆禁止運動などの契機ともなった事件を何というか、記せ。
- （１０） 2025 年 10 月に 11 番目の加盟国として ASEAN への加盟が承認された国はどこか、国名を記せ。

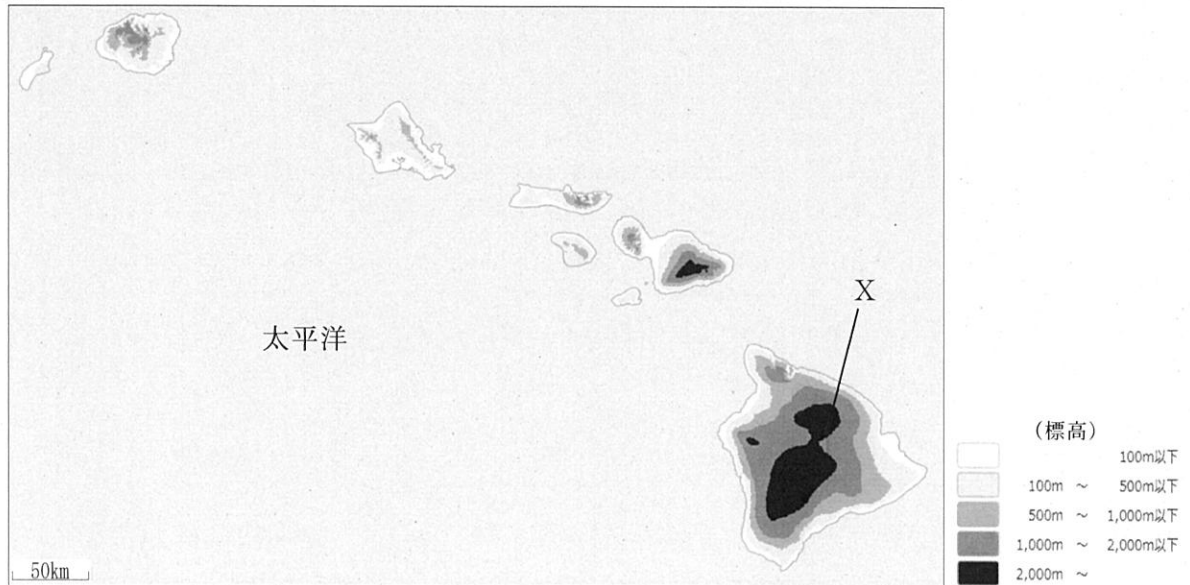
2 次の（１），（２）の問いに答えよ。

- （１） 日本における扇状地の一般的土地利用について、水利に着目して、100 字程度で説明せよ。
- （２） アパレルメーカーや電子機器メーカーなどでみられるファブレス企業について、経営上のメリットも含めて、100 字程度で説明せよ。

3 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 次の資料1は、太平洋におけるある諸島を示した地図であり、地図の範囲は、北緯約19～22度、西経約155～160度である。資料1について、①、②の問いに答えよ。

資料1



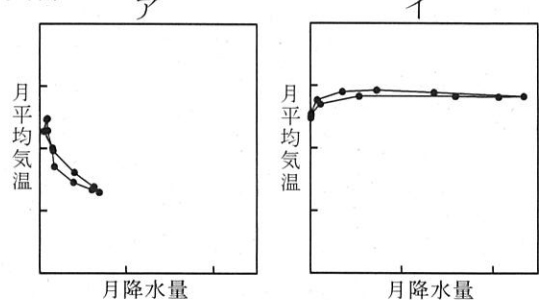
(「地理院地図」により作成)

- ① Xに当てはまる島の名称を記せ。
- ② X島周辺は、プレート突き抜けてマグマが上昇してくる「ホットスポット」といわれる場所である。地図にみられる島々の分布や大きさ、標高は、太平洋プレートが移動している証拠の一部であるといわれている。地図から読み取れることを踏まえて、これがどのような意味であるかを簡潔に説明せよ。その際、「侵食」という語を必ず一度は使い、最初に使用した箇所には下線を付せ。
- (2) 次の資料2は大気大循環の模式図である。また、資料3中のア、イは、資料2中のA、Bのいずれかの緯度帯に位置する都市のハイサーグラフである。資料2中のAの緯度帯のものを、資料3中のア、イから一つ選び、記号で答えよ。また、そのハイサーグラフから読み取れる雨季と乾季が生じるしくみについて、資料2を活用して説明せよ。

資料2

著作権者の権利保護のため掲載を省略

資料3



注) 出題の都合上、目盛りの数値は示していないが、ア、イの目盛りの数値はすべて同じである。

(気象庁ホームページにより作成)

- (3) 我が国の地理教育で伝統的に用いられているケッペンの気候区分について説明した次の資料4について、①、②の問いに答えよ。

資料4

19世紀後半から20世紀前半におけるドイツの気候学者であるケッペンは、当時すでに作成されていた右図のような世界の植生分布の模式図を用いて、植生分布の境界となる気温や降水量などを調べて、得られた数値と植生分布を対応させ、世界の多様な気候の区分を行った。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

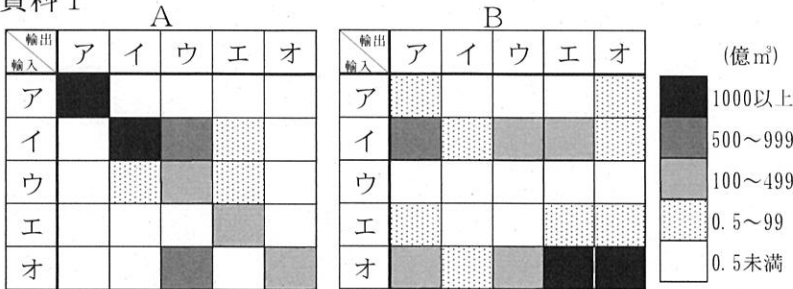
(『やさしい気候学』により作成)

- ① 下線部について、模式図中の植生分布の境界X、Yに対応する気温として最も適切なものを、次のア～オから一つずつ選び、記号で答えよ。
- ア 最寒月平均気温 -3°C イ 最寒月平均気温 18°C ウ 最暖月平均気温 0°C
エ 最暖月平均気温 10°C オ 最暖月平均気温 22°C
- ② ケッペンの気候区分を地理教育で用いることの意義を簡潔に説明せよ。その際、「人間活動」という語を必ず一度は使い、最初に使用した箇所には下線を付せ。

4 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

- (1) 次の資料1は、5つの地域間における天然ガスの輸出入量(2023年)を輸送方法別に示したものであり、A、Bは「パイプラインによる輸送」と「LNGとして輸送」のいずれか、ア～オは、アジア太平洋、北アメリカ、中東、ヨーロッパ、CISのいずれかである。「パイプラインによる輸送」を示したものを、A、Bから一つ選び、記号で答えよ。また、アジア太平洋、北アメリカ、ヨーロッパを示したものを、ア～オから一つずつ選び、記号で答えよ。なお、資料1においては、横軸が輸出した地域、縦軸が輸入した地域であり、輸出と輸入が同じ地域の箇所は、地域内の国家間の輸出入を示している。

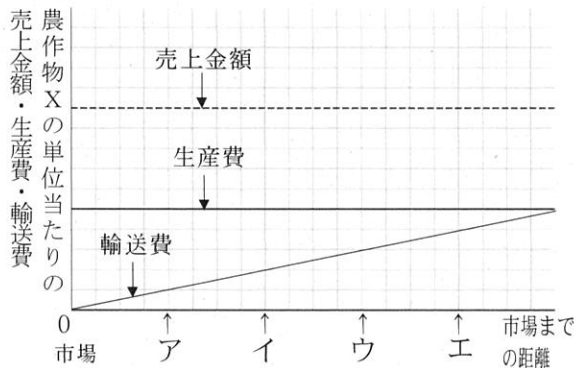
資料1



注) X、Yの輸出入量はいずれも気体状態の体積。
(BP Statistical Review Of World Energy 2024 により作成)

- (2) 次の資料2は、農作物Xの単位当たりの売上金額と生産費および輸送費を、農作物Xを生産する地点から市場までの距離との関係で模式的に示したものである。下の条件を踏まえ、農作物Xの単位当たりの輸送費が2倍に増加したとき、農作物Xの生産が行われない地点を、資料2中のア～エからすべて選び、記号で答えよ。

資料2



条件

- ・各地点における農作物Xの生産費は同じである。
- ・各地点で生産された農作物Xは資料2中の市場でのみ販売され、市場における価格は同じである。
- ・輸送費は、市場までの距離に比例して増加する。
- ・生産した農作物Xを販売することによる利潤は、次のように定義され、利潤が得られない地点では生産は行われない。

$$\text{利潤} = \text{売上金額} - (\text{生産費} + \text{輸送費})$$

- (3) 次の資料3は、5つの都市の小売業および卸売業の年間商品販売額(2020年)を示したものであり、ア～オは、大阪、札幌、名古屋、福岡、横浜のいずれかである。大阪、福岡、横浜に当てはまるものを、資料3中のア～オから一つずつ選び、記号で答えよ。

資料3

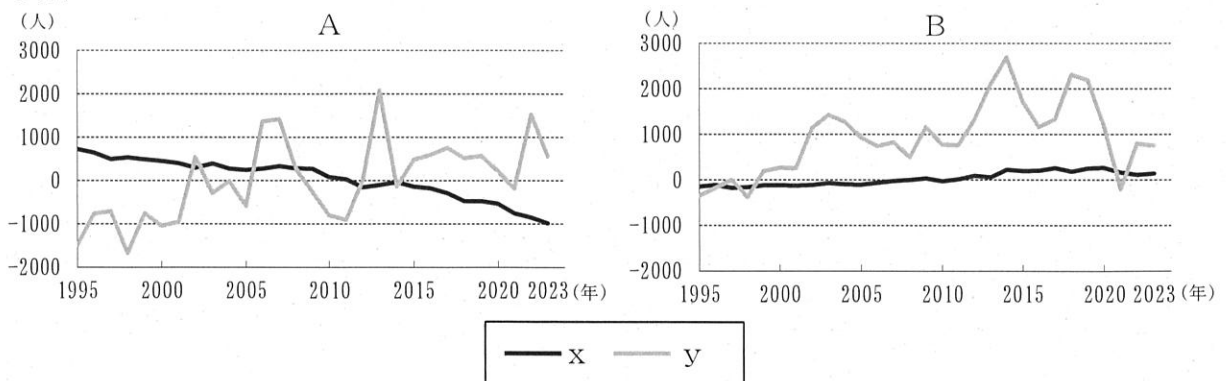
都市	小売業の年間商品販売額	卸売業の年間商品販売額
ア	413	3,560
イ	385	688
ウ	323	2,260
エ	228	718
オ	212	1,144

注) 単位は 100 億円。

(経済センサスにより作成)

- (4) 次の資料4は、東京都の2つの自治体における1995年から2023年までの各年の人口増加数を、自然増加数と社会増加数に分けて示したグラフであり、A、Bは、千代田区か多摩市のいずれかである。千代田区のを、A、Bから一つ選び、記号で答えよ。また、凡例のx、yは、自然増加数が社会増加数のいずれかである。自然増加数を示したものを、x、yから一つ選び、記号で答えよ。

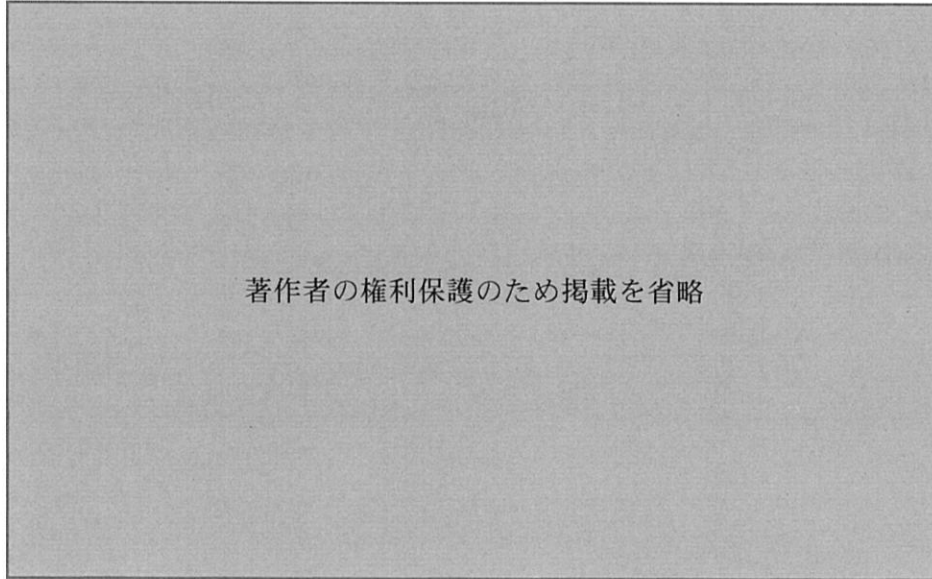
資料4



(RESASにより作成)

- 5 次の資料 1 は、中華人民共和国（中国）を 3 地域に区分した例である。資料 1 に関して、(1) ～ (3) の問いに答えよ。

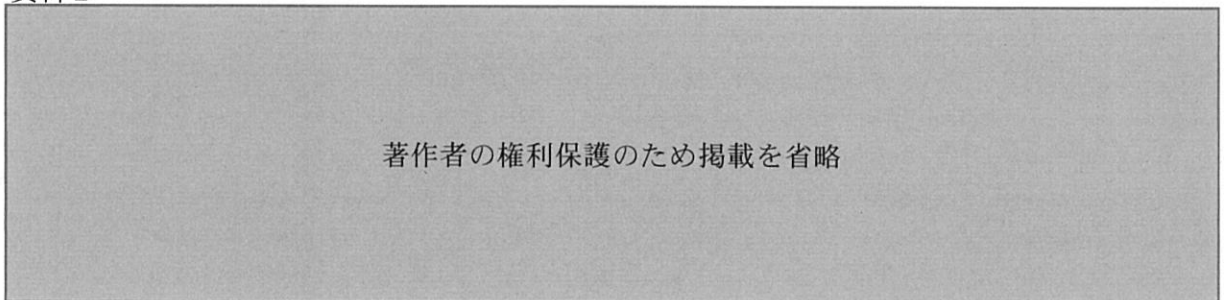
資料 1



(内閣府「世界経済の潮流」による)

- (1) 次の資料 2 の濃く示した部分は、資料 1 中の大陸部について、標高 500～1000m, 2000～3000m, 5000m 以上のいずれかの範囲を示したものである。それぞれの標高の範囲を示したものを、資料 2 中のア～ウから一つずつ選び、記号で答えよ。

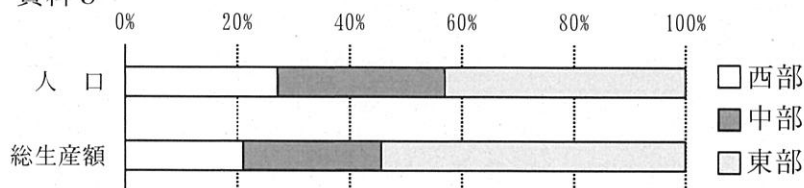
資料 2



- (2) 次の資料 3 は、資料 1 の地域区分による 3 地域の人口と総生産額 (2020 年) を、3 地域の合計に占める割合で示したものである。資料 1 と資料 3 から読み取れることと、それが主な背景となって生じている社会的な問題について簡潔に説明せよ。その際、[] 内の語を必ず一度は使い、最初に使用した箇所には下線を付せ。

[一人当たり総生産額 人口移動 戸籍制度]

資料 3



(「中国統計年鑑」により作成)

- (3) 次の資料4は、中国においてパソコンと集積回路の生産数量が多い上位5省市と中国全体に占める割合(%)を示したものであり、X、Yは、パソコンと集積回路のいずれか、a、bは、2009年と2020年のいずれかである。集積回路と2020年を示す記号の組合せとして最も適当なものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

資料4

	a	b
X	江蘇省 32.0	江蘇省 39.5
	甘肅省 17.5	広東省 23.3
	広東省 14.3	上海市 17.4
	上海市 11.4	甘肅省 7.9
	浙江省 6.7	浙江省 5.2
Y	重慶市 24.2	江蘇省 44.9
	四川省 19.9	広東省 5.7
	江蘇省 13.4	北京市 4.6
	広東省 12.2	上海市 4.2
	安徽省 8.2	福建省 3.3

- ア 集積回路－X 2020年－a
 イ 集積回路－X 2020年－b
 ウ 集積回路－Y 2020年－a
 エ 集積回路－Y 2020年－b

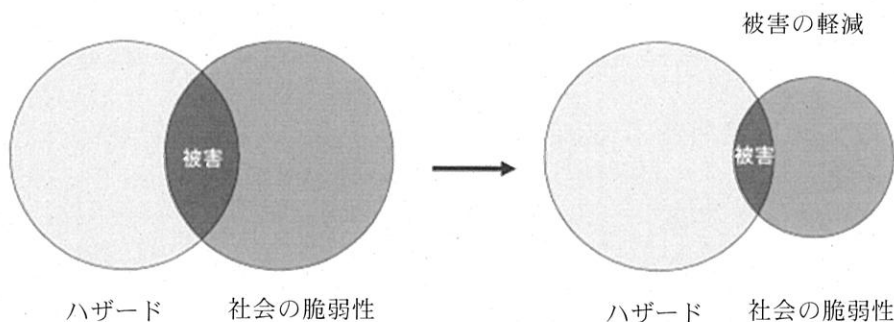
(「中国統計年鑑」により作成)

6

次の高等学校学習指導要領に関する問いに答えよ。

高等学校学習指導要領（平成30年告示）地理歴史科の「地理総合」の「C 持続可能な地域づくりと私たち」において、「(1) 自然環境と防災」を扱う際、あなたならどのような学習指導を展開するか。生徒が自然災害に対するあきらめや無関心の気持ちを抱かないように留意しつつ、ねらいと学習課題を設定し、その学習指導計画における第一次（最初のひとまとまり）の展開例とその意図を示せ。その際、次の資料1を活用して、学習指導を展開せよ。

資料1 自然災害における被害の大きさと「ハザード」及び「社会の脆弱性」の関係



(内閣府「防災白書」による)